

佳作

大事な家族、絆

静岡県 静岡市立清水飯田中学校二年 櫻田 優衣

私の家族は、母、姉、弟、私の四人家族です。父は、私が小学校の低学年の時に母と離婚し家を出ていきました。それから、母は仕事も家のことも全てやるようになりました。

このままでは母が倒れてしまうと思い、私は家事を手伝うようになりました。子供三人を親一人で育てるのはとても大変なことなのに母は幸せそうでした。私達の前では、疲れた顔を見せないようにしてくれていました。

それから、私は少しずつ家事を覚えていきました。私が家事を手伝っているのを見て、姉も一緒に家事をしてくれるようになりました。私達はこのようにして、母を、家族を支えていきました。

ですが、ある日のこと、母が急に何もないところで倒れたのです。母は、「疲れが溜まってちょっとめまいがしてしまっただ

け。」

と言っていました。

心配になった私は、母を布団につれていき寝かせてあげました。母は、「

ありがとう。」

と言うと二時間程眠り、目を覚ましました。私はその間もずっと母の隣りにいました。

母が起きた時に、私は気になっていたことが一つあったので母に聞いてみました。今の世界は幸せかどうか、ということでした。そうすると母は、

「大変なことや辛いこと、苦しいことたくさんあるけど、そんな気持ちあなた達と一緒に暮らせていると思うと、どっかに吹っ飛んじゃうわ。とても幸せよ。」

と笑いながら言ってくれました。私は泣きたい気持ちになりました。母はずっと私達と暮らせることが幸せだと感じてくれたのだと私は初めて知りました。

その後、母は復活し、前と同じように仕事をしに会社に出かけていきました。最近は、母の疲れを減らすため、家事は私と姉で交代でやることになりました。弟も途中から家事をやりたいと言い出し、弟にも手伝ってもらうことにしました。私達は協力し

て、頑張っていきます。母だけが大変な思いをして、母だけが頑張るのではなく、みんなで協力し、頑張っていこうと思います。

家族というのは、支え合ってできるものだと思います。みんなが協力して暮らしていくことによって、楽しい生活ができるということを知りました。家族は、必要不可欠なのです。だから、今もこれから家族を大事にしていきます。

私は、大人になったら母のようになりたいと思っています。子供を大事にする優しい母親です。辛いことなどがあっても逃げず、立ち向かう強い心を持って生きていきます。

これから先、何があっても私達の絆は切れません。ずっと、みんなが笑い合いながら、過ごしていきたいと思います。